

「夏の小学生向け講座」を開催しました

タイルクラフトで小箱を飾ろう

「わかりやすく教えてくれて、先生が材料をたくさんそろえていてくれて、とても楽しかったです」とは、参加した子ども達からの声。材料コーナーに用意された大小、色とりどりのたくさんのタイルの中からお気に入りを選び、並べ方や配色などを工夫しながら木製小箱の装飾を楽しみました。

【7/27 実施】



光るカップケーキボックスを作ろう

色選びやパーツ選びなどを工夫し、個性あふれる作品を製作することができました。会場を暗くしてライトをつけた様子は、とても幻想的でした。学校の違う子ども同士でも、同じテーブルで作業するうちに打ち解け、すぐに仲良くなることができました。

【7/27 実施】

プログラミングロボットカーmBotを走らせよう！ 【千葉市科学館出張講座】

千葉市科学館スタッフの指導を受けながら、プログラミングソフト「スクラッチ」を活用してロボットカーの走行プログラムを作成する体験をしました。子ども達はタブレットコンピュータによる操作にもあっという間に慣れ、盤上サーキットでの試走を楽しんでいました。

【7/28 実施】



ペットボトルで雪の結晶を作ろう

気圧の変化で大きくなったり小さくなったりするマシュマロや菓子袋。目の前のペットボトルの中で成長する雪の結晶。参加した子ども達は、モデル実験や解説、紙芝居等を通して、気象に関する知識を得たり、防災意識を高めたりすることができました。

【7/30 実施】

ピンホールカメラを作ろう

県立千葉中学校科学部顧問の先生の指導の下、針穴（ピンホール）を利用したピンホールカメラを製作したり、身近なものや景色を試写したりしました。アシスタントとして活動を支援してくれた科学部員と子ども達の交流は、双方にとって貴重な経験となりました。

【8/2 実施】



今後の主催事業



◆今から取り組もう！防災講座

～在宅避難について考える～

日時：9/21(水)・28(水)10:30～12:30

定員：16人（抽選／成人）

申込：9/2(金)～9(金)17時まで

※直接来館又は電話で

10月 ◆大人の科学講座

◆スマホアプリを体験しよう

11月 ◆環境講座

◆クリスマス飾り作り

12月 ◆ワードでチラシを作成しよう

◆カラスとヒトとの付き合い

※事情により予定を変更する場合があります。

おらせ



◇玄関にデジタルサイネージが設置されました

デジタルサイネージとは・・・

⇒表示と通信にデジタル技術を活用してモニターやプロジェクターなどによって映像や文字を表示する情報・広告媒体です。電子看板とも呼ばれます。

配信情報について・・・

⇒平常時は、新型コロナウイルス感染症に関する情報（週報）や公民館のイベント情報等が配信されます。また、災害発生時には、物資の配布情報や、生活に関する情報（お風呂の開放情報等）、その他災害対策本部からのお知らせ等が配信されます。

災害時の情報収集にご利用ください・・・

⇒指定避難所以外へ避難している方へも情報をお届けするため、指定避難所を情報発信拠点としています。携帯電話等をお持ちでない方など、お手元に情報が届かない場合は、指定避難所のデジタルサイネージや掲示物などで市が配信する災害情報を確認することができます。

【参考】千葉市役所ホームページ「デジタルサイネージによる災害情報の配信」

(右) 防災情報

(下) 公民館情報



玄関壁面に設置